

家事事件手続法概説



監修	:	裁判所職員総合研修所
定価	:	本体 2,200 円＋税
判型	:	B5 判
ページ数	:	174 ページ(本文 156 ページ)
ISBN	:	978-4-906929-56-6
発行	:	平成 28 年 6 月

内容

家事事件手続法は、平成25年1月1日に施行されました。本書は、裁判所職員総合研修所の家事事件手続法に関する講義用教材として平成27年2月に初めて作成されたものです。家事審判および家事調停の制度上の諸手続について、新たな手続法と旧法の改正点を踏まえながら、基本的な知識を付与することを目的として発刊されました。

これから家事事件の基本を学ぶための書として、裁判所職員や家事調停を担うことになった家事調停委員、また、弁護士、司法書士、行政書士等の関係者の方々にも是非一読いただきたい教材となっています。

[目次\(抄\)](#)

目次(抄)

第1章 序論	第9節 審判	第6 中止
第1節 家事事件手続	第1 審判等の意義, 種類及び性質	第7 調停手続の終了
第1 意義	第2 審判等の成立	第8 戸籍事務管掌者に対する通知
第2 家事事件手続の性質	第3 審判等の効力等	第9 調停手続における不服申立て
第2節 家事事件手続法の成立	第4 戸籍事務管掌者への通知	第10 調停の成立
第1 家事審判法の成立及び改正	第5 戸籍記載の嘱託	第9節 合意に相当する審判(277条審判)及び調停に代わる審判(284条審判)の手続
第2 家事事件手続法の立法経緯	第6 登記の嘱託	第1 277条審判の手続
第3 家事事件手続法の特徴	第7 審判等に対する不服申立て	第2 284条審判の手続
第3節 家事事件手続の主な流れ	第8 審判等の取消し, 変更	第4章 履行確保
第2章 家事審判手続	第9 再審	第1節 意義
第1節 家事審判事項	第10 審判等の更正決定	第2節 履行状況の調査及び履行の勧告
第1 概説	第3章 家事調停手続	第1 意義
第2 家事審判事項の限定性等	第1節 家事調停制度	第2 調査及び勧告の対象となる義務等
第2節 審判機関等	第1 家事調停の概念	第3 調査及び勧告の開始
第1 審判機関	第2 家事調停制度の特色	第4 調査及び勧告の管轄等
第2 除斥, 忌避, 回避	第3 家事調停事件についての家事法の規定	第5 調査及び勧告の方法等
第3節 当事者等	第2節 家事調停事項	第6 記録の閲覧・謄写
第1 当事者	第1 意義及び範囲	第7 調査及び勧告の終了
第2 当事者能力, 手続行為能力	第2 調停前置主義	第3節 履行命令
第3 代理・補佐	第3 家事調停と民事調停との関係	第1 意義
第4節 参加	第3節 調停機関	第2 履行命令の対象となる義務
第1 参加の意義	第1 調停委員会	第3 履行命令事件の申立て
第2 当事者参加	第2 裁判官	第4 履行命令事件の管轄
第3 利害関係参加	第3 家事調停官	第5 履行命令事件の審理
第5節 手続からの排除	第4 裁判官以外の裁判所職員の除斥, 忌避, 回避	第6 履行命令
第6節 手続費用	第4節 当事者・代理・補佐	第7 履行命令手続の終了
第1 手続費用についての定め	第1 当事者	第4節 経過措置
第2 手続上の救助	第2 代理・補佐	第5章 罰則
第7節 管轄・移送	第5節 参加及び排除	第1節 概説
第1 管轄	第6節 手続費用	第2節 過料
第2 移送・自庁処理	第1 家事調停手続の費用	第1 出頭命令違反(不出頭)に対する過料
第8節 審判手続	第2 手続上の救助	第2 証拠調べの手続における過料
第1 手続の開始	第7節 管轄・移送	第3 履行命令違反(不服従)に対する過料
第2 家事審判事件係属に関連する事務	第1 管轄	第4 調停前の処分の命令違反(処分不服従)に対する過料
第3 審判前の保全処分	第2 移送・自庁処理	第5 過料に処する手続と執行
第4 審理	第8節 調停手続	第3節 刑罰
第5 受継	第1 手続の開始	第1 人の秘密を漏らす罪
第6 中止	第2 調停事件係属に関連する事務	第2 評議の秘密を漏らす罪
第7 家事審判手続の終了	第3 調停前の処分	第3 不出頭の罪
	第4 調停の実施	
	第5 受継	